



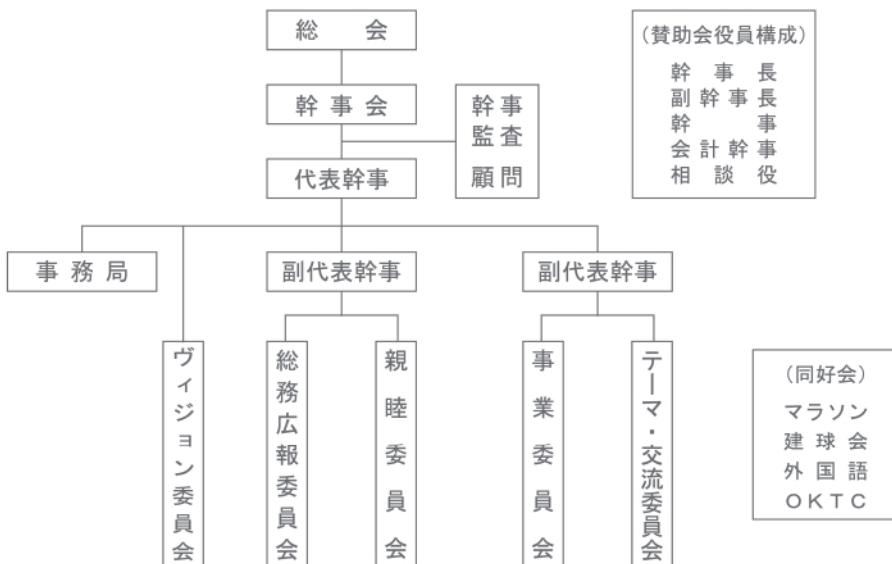
岡山建築設計クラブ
第24回 ワンデーエクササイズ

2017



OKC 岡山建築設計クラブ

岡山建築設計クラブ（OKC）は、昭和62年に設立された、岡山県内で建築設計・工事監理を専業としている建築設計事務所有志による任意団体です。平成29年7月現在、正会員37社と賛助会員49社で構成され、「建築設計事務所の業務・技術の進展をはかり、建築文化の発展に寄与する」ことを目的に、「ひとづくり」「まちづくり」を活動テーマとして掲げ、日々活動をしています。役員任期を1年として、毎年の代表幹事が「年度の具体的なテーマ」を掲げていくことも会の特徴になっています。



【ワンデーエクササイズについて】

本会の目的である「建築文化に寄与することや「ひとづくり・まちづくり」の観点で、岡山県内で建築を学ぶ、建築系の大学・短大・専門学校・高校の学生・生徒を対象として、1日設計コンペ「ワンデーエクササイズ」が、平成6年に誕生しました。

「ワンデーエクササイズ」の特徴として、学校別にチームで参加する点があげられます。まちづくりは、個人の考えではなく、多くの人々と協議しながらまとめていくことが必要になりますので、この企画は、その機会を与えていているものと考えています。

第4回目以降は、設計で活躍中の著名な建築家を審査員長に迎え、学生への刺激や興味を掘り起こしながら、学生たちの発揚を目指すと共に、審査当日、審査員長とのやりとりを通して、建築家の視点による、深い意図の読み取りを目指しています。

「ワンデーエクササイズ」は、共催、後援など多くの皆様に支えられて、本年度24回目の開催になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2017年

岡山建築設計クラブ

第24回 ワンデーエクササイズ



審査委員長（加茂紀和子）…03

大会概要 …05

出展一覧・審査結果 …06

審査会ドキュメント …07

代表幹事（大丸和子）…24

出展作品紹介

【最優秀賞】
中国デザイン専門学校 CDC チーム …09

【優秀賞】
岡山理科大学専門学校 RISEN B チーム …10
岡山理科大学 チーム H …11

【奨励賞】
岡山理科大学専門学校 RISEN A チーム …12
岡山理科大学 YAS ラボチーム …13

【OKC賞】
岡山科学技術専門学校 カギセン A チーム …14
岡山科学技術専門学校 カギセン B チーム …15
岡山科学技術専門学校 カギセン C チーム …16
山陽学園大学チーム …17
ノートルダム清心女子大学チーム …18

【総合資格賞】
岡山後楽館高等学校 Taiga Shirakashi …19

【学会奨励賞】
岡山理科大学 高橋・中村チーム …20

【両備賞】
岡山工業高等学校 岡工建築研究同好会チーム …21

総評

審査委員長

加茂 紀和子



経歴

1962年 福岡県北九州市生まれ
1987年 東京工業大学大学院修士課程修了
1987年 久米建築事務所（現 久米設計）設計室～91年
1992年 セラヴィアソシエイツ設立
1995年 みかんぐみ設立
1997年 千葉大学非常勤講師～02年
2004年 ICSカレッジオブアーツ講師～16年
2008年 昭和女子大学非常勤講師～12年
2008年 東京理科大学非常勤講師～15年
2015年 名古屋工業大学 教授

主な作品

2001年 八代の保育園
2004年 北京建外 SOHO 低層商業棟
2005年 愛・地球博トヨタグループ館
2009年 伊那市立伊那東小学校
2009年 横浜開国・開港博 Y150 Y150 はじまりの森
2011年 横浜市立あかね台中学校
2013年 mAach ecute 神田万世橋

当日は台風接近中の雨模様でしたが、会場内は熱気で溢れています。各チームが思いの結実を携えてプレゼンに臨んでいる意気込みに、審査するこちらの方が緊張してしまうほどでした。

今回の課題は、大型商業施設の撤退によって生じたまちの中心部の大きな空隙をいかに「人が集まる」場へと変化させるかということでした。本来、街並はゆっくりと積み重ね、編集され、引き継がれてゆくことで親しみや賑わいがつくられるべきものだと思いますが、一方で都市環境は突然変化して、それまでの記憶を更地にしてしまうという事が岡山のまちなかで現実となっていて、対象の敷地とされたということです。実際に現場を訪れる上、解体前の建物は周辺の町のスケールにそぐわない巨大なコンクリートの塊のように見えましたし、その大きな敷地にヒューマンスケールの空間をつくるというのですから、検討の時間をたくさん要するとても難しいものだったのではないかでしょうか。

しかし、プレゼンされた案はどれも完成度が高く、この場所ならではの可能性が示されていました。子どもとアートを切り口とし、明るくポジティブに、様々な場所が展開している大きな模型をみると色々な想像が膨らみました（それで、ついよけいな要望を口にしたりして）。中心市街地という立地と街の機構を読み解きつつ、そこに子どもの居場所、居心地をどのようにつくるか、それをまちの活性化とどうつなげるか、どういう空間であるべきか....。長い時間をかけて、暑い夏休みの間、みんなであれこれ討議して作り上げたものでしょう。すべてのチームの真剣な発表を聞いていると、そこに優劣をつけて選ぶことはとても大変でした。

交流時間の時の各チームの話から、それぞれのチームカラーを少し理解することができました。毎年参加する学校のチームには自信を感じましたし、初めて参加したチームには手探りではあるけれど新鮮さがありました。高校生チームの圧倒的な明るさで夢を絵にするパワフルさ、一人で頑張った高校生の技量と努力には感服しました。また、後輩の案をバックアップした先輩達というチームがありました。通常は学年を越えた有志で集まっているチーム編成では上の学年を下が手伝うという構図になりますが、もしかするとこういう感じが岡山の特徴なのかもしれないなと思いました。主催の岡山建築設計クラブの皆様とお話ししていくも感じましたが、枠を越え、みんなでつくる、盛り上げるという土壤。それこそがワンデーエクササイズが24回も続いている所以なのだと合点しました。

最優秀は、昨年は学科の学生が少なすぎて参加を見送ったという中国デザイン専門学科のチームとなりました。岡山の街をつなぐ路面電車の経路を敷地に引き込んで、人の活動の見えるショーケースを東ねる都市のリボンという建築のテーマが独創的でした。おめでとうございます。「みんなでやれたことがよかったです」と喜ぶ彼女達の涙をみて思いましたが、受賞の有無よりも、そのプロセスの時間こそがかけがえのないものだということを参加した皆が感じたことだと思います。そういう皆さんのが姿に出会えて力をいただき、わたしも頑張ろうと思いました。ありがとうございました。ワンデーエクササイズがこれからも岡山の学生たちのチャンスとして、岡山のまちづくりの原動力としてずっと引き継がれてゆくことを願いまして、総評とさせていただきます。

みかんぐみ 加茂 紀和子

概要

「人づくり」「まちづくり」を大きなテーマとしている岡山建築設計クラブでは、今からのまちづくりを担う学生達が、学校から離れた場所で他校との交流をはかり、相互理解を深め、実社会で活躍している建築家との出会いの中から現実を学ぶことは、大きな意義を持つものと考え、本年も建築系を学ぶ学生を対象にワンデーエクササイズを開催いたします。建築とは単体で成り立つものではなく、周辺環境に深く影響を与えます。一敷地の計画はまちづくりへ展開していきます。これを機会に岡山について考え、将来どうありたいかを話し合うことにより、一層親しみを持って「岡山のまちづくり」に取り組んで行けるようになると考えます。この企画を通じて、建築を学ぶ学生たちが成長の一過程で何かをつかみ取ってくれることを期待し、また、学生たちのアイデアが一般市民の目に触れることにより、新しい議論のきっかけとなり、岡山のまちづくりに貢献できることを期待しています。



会場の岡山市勤労者福祉センター

- 開催日 平成 29 年 10 月 28 日（土）
- 会場 岡山市勤労者福祉センター 5 階 体育集会室
- 主催 岡山建築設計クラブ
- 共催 （一社）岡山県建築士会
（一社）岡山県建築士事務所協会
（公社）日本建築家協会中国支部 岡山地域会
（一社）日本建築学会中国支部岡山支所
（公社）日本建築積算協会中国四国支部岡山県部会
- 後援 岡山県・岡山市・倉敷市
- 特別協賛 株式会社 総合資格

●課題地 イトーヨーカ堂跡地

●課題名称 「子どもが楽しい まちづくり！」～人が集まる建築と現代アート～

●コンセプト

イトーヨーカ堂跡地はかつては、岡山市の中心においてメインショップとしての側面を持っていました。そして、現在はイオン岡山に隣接したショッピングゾーンに位置し、時代の変化の中でその時に必要な機能に変化していくことが求められます。さらに、岡山城や後楽園も近接しており観光の要の地域でもあり、これから一層、岡山の文化と歴史、観光を多くの多世代の方々に親しんでいただくことのできる岡山の魅力発信の拠点とし、人（子供）が育ち、人と人がつながりそして多世代から次世代につながる新しい価値を創造できる提案を求めます。



【敷地条件】 左図（対象敷地は、ハッチ部分とする）

- 注 1. 建物用途や構造、規模の制限は問いませんが、建築的に不可能な内容は避けること。
- 注 2. 課題地以外の周辺地域の景色は変えないこと。
- 注 3. 実施コンペではありません。

【提出物】

- ・プレゼンテーションパネル（A1サイズ）2枚以内
- ・計画意図が表現できるもの、簡単な説明文
- ・模型（A1サイズ程度）の提出可
- ・趣旨説明書（A4版）1枚で50部

【表現】

自由（内容を伝えるための絵図、写真貼付け等自由）

【プレゼンテーション】

開催当日、各チーム 10 分間程度のプレゼンテーションを実施（パワーポイントの使用可）

【審査方法】

公開審査（プレゼンテーション／審査委員とのヒアリング）により各賞を決定

審査結果

優秀賞



岡山理科大学専門学校
RISEN B チーム
「いってきます！」～子どもが街をつなぐ～

優秀賞



岡山理科大学
チーム H
杜の器

優秀賞



岡山理科大学専門学校
RISEN A チーム
PALETTE～ヒト、モノ、コトが混ざり合うマチ～

奨励賞



岡山理科大学
YAS ラボチーム
ひとつ屋根の下

O K C 賞



岡山科学技術専門学校
カギセン A チーム
つながる絵本図書館

O K C 賞



岡山科学技術専門学校
カギセン B チーム
～未来へつながるメッセージ～

O K C 賞



岡山科学技術専門学校
カギセン C チーム
Building culture blocks
～アート×スポーツ ミュージアム～

O K C 賞



山陽学園大学チーム
トラムランド：本物の路面電車が走る子どもの国

O K C 賞



ノートルダム清心女子大学チーム
「つみき」の街○△□

総合資格賞



岡山後楽館高等学校
Taiga Shirakashi
屋内型植物園

学会奨励賞



岡山理科大学
高橋・中村チーム
wonder blocks land

両備賞



岡山工業高等学校
岡工建美研究同好会チーム
キッズプラネット

最優秀賞



中国デザイン専門学校
CDC チーム
MITAINA

... P.09

審査 風景



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J

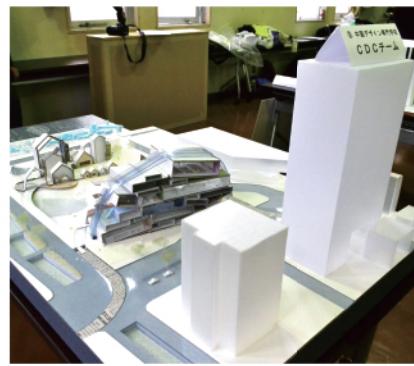


K

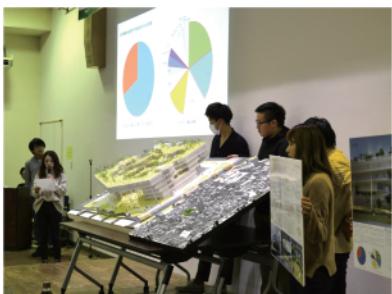
- A 開会の言葉を述べる大丸和子氏(岡山建築設計クラブ代表幹事)
 B 岡山理科大学専門学校 RISEN A チームによるプレゼンテーション
 C 山陽学園大学チームによるプレゼンテーション
 D 岡山理科大学 高橋・中村チームによるプレゼンテーション
 E ノートルダム清心女子大学チームによるプレゼンテーション
 F 岡山工業高等学校 岡工建築研究同好会チームによるプレゼンテーション
 G 審査委員長の加茂紀和子氏による質疑
 H 岡山科学技術専門学校 カギセン B チームによるプレゼンテーション
 I 岡山理科大学 YAS ラボチームによるプレゼンテーション
 J 岡山科学技術専門学校 カギセン A チームによるプレゼンテーション
 K 岡山後楽館高等学校 Taiga Shirakashi によるプレゼンテーション



L



M



N



O



P



Q

L 中国デザイン専門学校 CDC チーム[最優秀賞]によるプレゼンテーション

M 中国デザイン専門学校 CDC チーム[最優秀賞]の作品「MITAINA」

N 岡山理科大学 チームH[優秀賞]によるプレゼンテーション

O 岡山理科大学専門学校 RISEN B チーム[優秀賞]によるプレゼンテーション

P 岡山科学技術専門学校 カギセン C チームによるプレゼンテーション

Q 出展者・審査委員・会場運営ならびに関係者らによる集合写真

R 加茂氏との個別交流会(岡山理科大学専門学校 RISEN A チーム模型前)



R

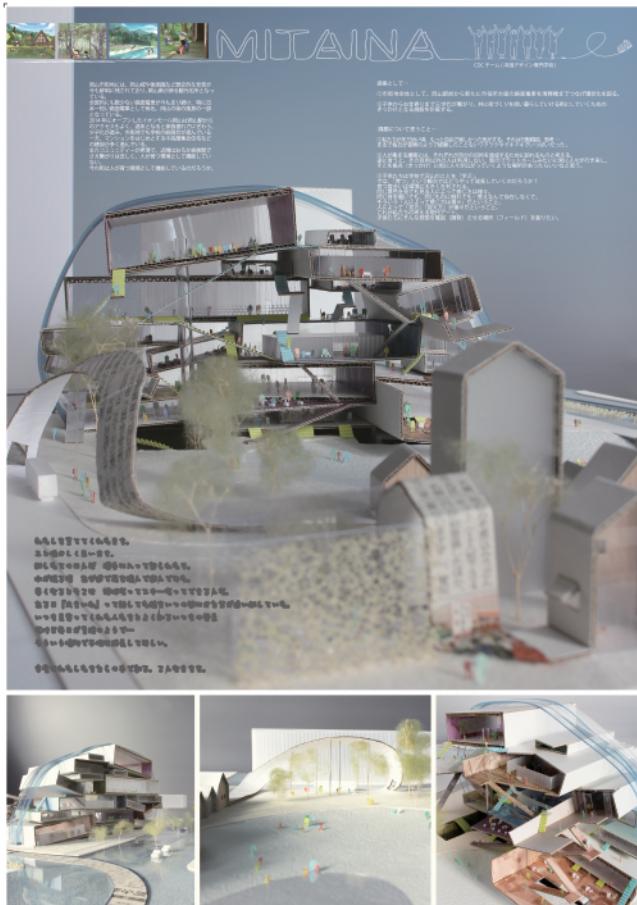
MITAINA



▶ 中国デザイン専門学校

CDC チーム

花房 美華 新谷 千幸 谷元 彩加 奥沢 恵
原口 奈々 三浦 あすか 村上 結香



Concept

岡山市街地には、岡山城や後楽園など歴史的な背景が今も鮮明に残されており、岡山県が誇る観光名所となっている。全国的にも数少ない路面電車が今も走り続け、特に日本一短い路面電車として有名。岡山の街の風景の一部となっている。2014年にオープンしたイオンモール岡山は岡山駅からのアクセスもよく、週末となると家族連れでにぎわう。少子化が進み、市街地でも学校の統廃合が進んでいる一方、マンションをはじめとする中高層集合住宅などの建設が多く進んでいる。またコミュニティーが希薄で、近隣はおろか家族間でさえ繋がりが乏しく、人が育つ環境として機能していない。今の街は人が育つ環境として機能しているのだろうか。

提案として…

①市街地全体として、岡山駅前から新たに市役所方面の路面電車を清輝橋までつなげ環状化を図る。

②子供からお年寄りまで三世代が繋がり、共に街づくりを担い暮らしていける街にしていくためのきっかけとなる施設を計画する。

課題について思うこと…

①私たちがまだ幼い頃、もっと自由で楽しかった気がする。それは行動範囲、思考…まるで毎日が冒険のよう経験したことないワクワクやドキドキでいっぱいだった。

②人が集まる建築とは、それぞれが自分の目的を達成するために訪れるものと考える。逆に言うと、その目的以外の人は利用しない。駅のプラットホームみたいに常に人々が行き来し、そこを拠点（きっかけ）に街に人々が広がっていくような場所があつたらいいなと思う。

③子供たちは学校で沢山のことを「学ぶ」。では、「育つ」という観点ではどうやって成長していくのだろうか？ 育つ度合いは環境に大きく左右される。同じ景色を見ても見る人によって感じ方は様々。同じ音を聞いても、同じものに触れても…答えなんて存在しなくて。そういう「人によって感じ方は様々」だということ。人によって「見方」「捉え方」が様々だということ。

これが私たちの考える現代アート。子供たちにそんな発想を醸起（誘発）させる場所（フィールド）を創りたい。

「いってきます！」～子どもが街をつなぐ～



▶ 岡山理科大学専門学校

RISEN B チーム 建築学科 1年、2年

井上 有志 茨城 心之介 大河 由佳 重田 光輝
野上 彩乃 松浦 秀平 友野 恭佑 野上 凌平
伴埜 大亮 藤井 大正 松田 匠太



Concept

以前の商業施設がなくなった今では地域住民の通うスーパーは遠くなり、生活しづらくなっています。また、子どもの引きこもりが多い、待機児童数が全国で2番目に多い、地域での交流が少ないなどの問題が挙がる中で課題地を中心にどのように街づくりをしていくかを考えました。

そこで、子どもが集まる居場所、働きながら育児ができる環境、世代を超えて交流できる環境を目指とする商業施設を提案します。

課題地に「あすなろエリア」、「あおぞらエリア」、「ふれあい市場」という3つのエリア分けを行いました。

あすなろエリアは主に子どもが集まり勉強や遊ぶことのできるエリアです。託児所や学童クラブ、子ども食堂を設けます。また、保育や教育者を志す学生にボランティアを募りお世話を来てもらいます。

次に、あすなろエリアでは主に地域間での交流を目的に考えました。ステージとイベントホールでは様々な催しを行い、幅広い年齢の人々が楽しめる企画を行います。

最後に、ふれあい市場では主にショッピングを中心に考えました。店舗は個人経営を主体として、売り手と買い手の結びつきを強くします。また、近隣住民や体の不自由な人のために宅配サービスを行い、子どもたちも参加します。

以前の脳わっていた時代と今の時代では、抱える問題や求めるもの、コミュニケーションツールなど、ずいぶん変わりました。しかし、人と人が関わるときにいちばん心が温まることは、直接顔を見てコミュニケーションをとることだと感じています。それはいつの時代も変わりません。

ここは、子どもたちが地域の人々とふれあうことで成長していく街になります。私たちは子どもが育つことで、活気が生まれ、子どもから大人へ、大人から街へ、街から地域へと元気になることを信じています。

杜の器

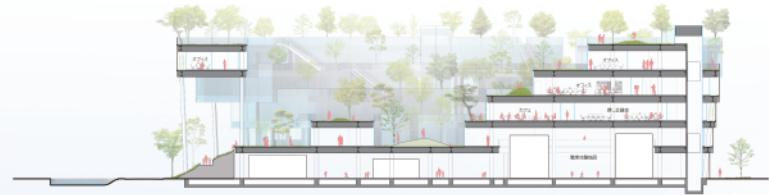


▶ 岡山理科大学 建築学科

岡山理科大学 チームH

難波 吾航 弘中 芳 櫻 翔太

秋山 菜乃佳 練尾 早紀 橫溝 佳奈



Concept

本計画は、「岡山で働く人材を岡山で育てる」、「都市に内包する自然」、「新たなコンパクトシティ」の3つをキーワードに、小学生以下を対象とした職業体験施設、中高生の職場体験を受け入れる企業の入るサテライトオフィス、シェアオフィスの複合オフィスを計画した。

岡山県は休廻業率が高く、全国的に見ても高い数値である。その対策として岡山市では、企業する人に対し市が補助金を提供し、企業セミナー等も開催されている。対象敷地周辺は、様々なオフィスが集積しており、他企業との連携も取りやすい。計画地に貸しオフィスや、シェアオフィスを計画することで、岡山の主オフィス街へオフィスを構えることが容易になることや、一つの施設に多様な企業が入るため、共同で仕事をすることも可能となる。職業体験施設は、この施設に入る企業が共同で管理・運営し、小学生から大学生までが様々な企業を体験してもらい、個々人が自立し自己実現できる人間に成長してもらう事を狙いとしている。そして、将来世代の起業する人がここで職場体験を行うことで起業へのビジョ

ンを明確にしてもらうと共に、将来的にはこの施設にある貸しオフィスを利用して起業してもらうことで岡山の企業、人材の成長につなげる狙いである。

この施設のコンセプトは「都市に内包された自然」である。現在の岡山市の街中には自然が少なく、生活する人々にとって自然に触れる機会がない。そこで新宿御苑やニューヨークのセントラルパークのような都市に囲まれた自然を建築の中に取り入れることで不特定多数の人人が集まる広場をつくり、自然と触れ合う機会を設ける。建物の外観をひとつの器に例えて、その器には緑があふれている。そこから、周辺へと緑が広がっていくイメージである。

最後に、岡山の街をよりよくするための仕掛けとして、路面電車を活用した新たな都市構造を提案する。現在岡山市が目指している「コンパクトな都市」は都市拠点に高次都市機能と居住機能を集積させてコンパクトにするものであるが、本計画では、路面電車を張り巡らせることで人々の移動距離をコンパクトにする「新たなコンパクトシティ」である。

PARETTE ~ヒト、モノ、コトが混ざり合うマチ~



▶ 岡山理科大学専門学校

RISEN A チーム 建築学科専攻科

梅里 歩 石田 真弓 今岡 佑斗 岩田 凌 佐藤 貴大 佐藤 拓海
徳永 沙良 中須賀 将貴 野竹 萌恵 馬場 香里 矢田 茉那



Concept

今回の課題地のイトーヨーカ堂跡地は、今から 20 年前ほどに岡山商工会議所が提唱した 1 km スクエア構想の一角を担う拠点に位置します。これは、岡山市中心市街地の利便性や回遊性を高め、文化公園都市を目指した構想です。岡山市によるプロバーソン調査によれば、以前は岡山駅から市役所までの市役所筋やその周辺は、徒歩による移動が多く、立ち寄りや滞在傾向の高い場所でしたが、イトーヨーカ堂の撤退により、イオンモールより南のエリアは、通貨傾向の強い場所となっています。私達はここに、再び回遊性があつて滞留できる場所を作ることによって、子供たち大人の居場所になり、また多くの人たちが憩い、集まる場所を作りたいと考えました。そこで、まず周辺の施設から派生する用途を取り込みながら、子供の居場所となるようなプログラム、例えばまちの教室やまちの工作室、まちの食堂、まちの図書館などを課題地にパレット状に並べます。これらのプログラムは、いわばもうひとつの学校のようなもので、子供だけでなく、お年寄りやビジネスマン、観光に訪れた人々など誰でもが利用できます。周囲からのアクセス動線や通り抜け動線を

設けることによって、滞留する場所や立ち寄る場所を生み出し、新しいパレットが出来上がります。この新しいパレットは、スラブや壁、スロープや広場の要素に分解され、立体に混ざり合って建築になります。また、工作室やアトリエ、スタジオ等で作られた作品や音楽は、屋上庭園やスロープ広場などの至るところに展示されたり演奏され、この建築自体が作品のキャンバスにもなります。建築全体に耐力壁として分散される白い壁は、子供や大人を問わず誰もが自由に落書きでき、市民のストリートアートの共同作品が作られてきます。これらの様々な活動は、近接した KSB 放送局と連動したサテライトスタジオや、真向かいにある山陽新聞社からも絶え間なく発信され、さらに多くの人々を誘い込みます。この場所は、人も、プログラムも、建築も、アクティビティーも、自然も混ざり合うパレットのような空間です。そしてここで生まれる様々な交流が、沢山の“いろ”を産み出し、それが地域に拡がってまちに“彩り”を加えていくことによって、この岡山という場所が、ますます魅力的な“まちのキャンバス”となっていくことを私達は期待しています。

ひとつ屋根の下

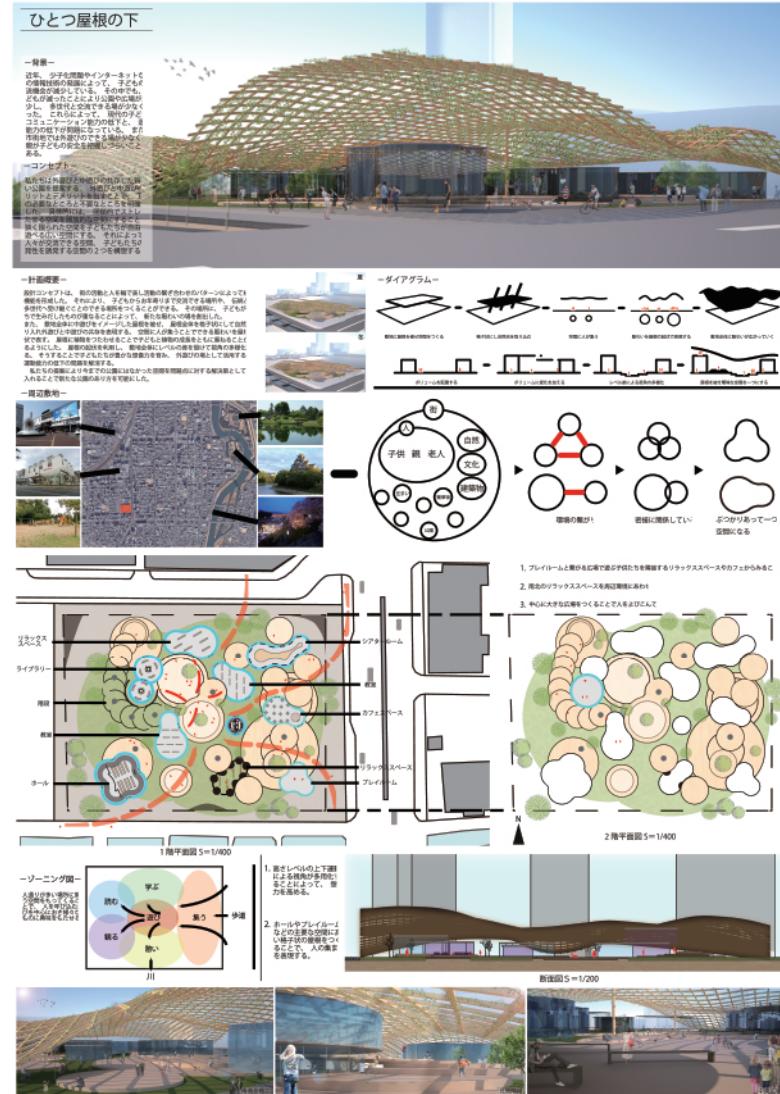


▶ 岡山理科大学 建築学科

岡山理科大学 YAS ラボチーム

長嶺 大智 桑原 龍司 川合 春菜 川上 風香

竹本 聖 濱口 結衣 梶谷 友愛 佐藤 史典



Concept

近年、少子化問題やインターネットなどの情報技術の発展によって、子どもの交流機会が減少している。の中でも、子どもが減ったことにより公園や広場が減少し、多世代と交流できる場が少なくなった。これらによって、現代の子どもはコミュニケーション能力の低下と、運動能力の低下が問題になっている。また、市街地では外遊びのできる場が少なく、親が子どもの安全を把握しづらいこともある。

そこで、私たちは外遊びと中遊びの共存した新しい公園を提案する。外遊びと中遊びのメリットとデメリットを出すことで、互いの必要なところと不要なところを明確にした。具体的には、閉鎖的でストレスがたまる空間を開放的な空間にすることや、狭く限られた空間を子どもたちが自由に遊べる広い空間にする。それによって、人々が交流できる空間、子どもたちの自発性を誘発する空間の2つを構想する。

設計コンセプトは、街の活動と人を輪で表し活動の繋ぎ合わせのパターンによって様々な機能を形成した。それにより、子どもからお年寄りまで交流できる場所や、伝統と歴史を

多世代へ受け継ぐことのできる場所をつくることができる。その場所に、子どもが自分たちで生み出したものが重なることによって、新たな賑わいの場を創出した。

また、敷地全体に中遊びをイメージした屋根を被せ、屋根全体を格子状にして自然光を取り入れ外遊びと中遊びの共存を表現する。空間に人が集うことでできる賑わいを屋根の起伏で表す。屋根に植物をつたわることで子どもと植物の成長とともに重ねることができるようにした。屋根の起伏を利用して、敷地全体にレベルの差を設けて視角の多様化をはかる。そうすることで子どもたちが豊かな想像力を生み、外遊びの場として活用することで運動能力の低下の問題を解消する。

私たちの提案により今までの公園にはなかった空間を問題点に対する解決策として取り入れることで新たな公園の在り方を可能にした。

つながる絵本図書館

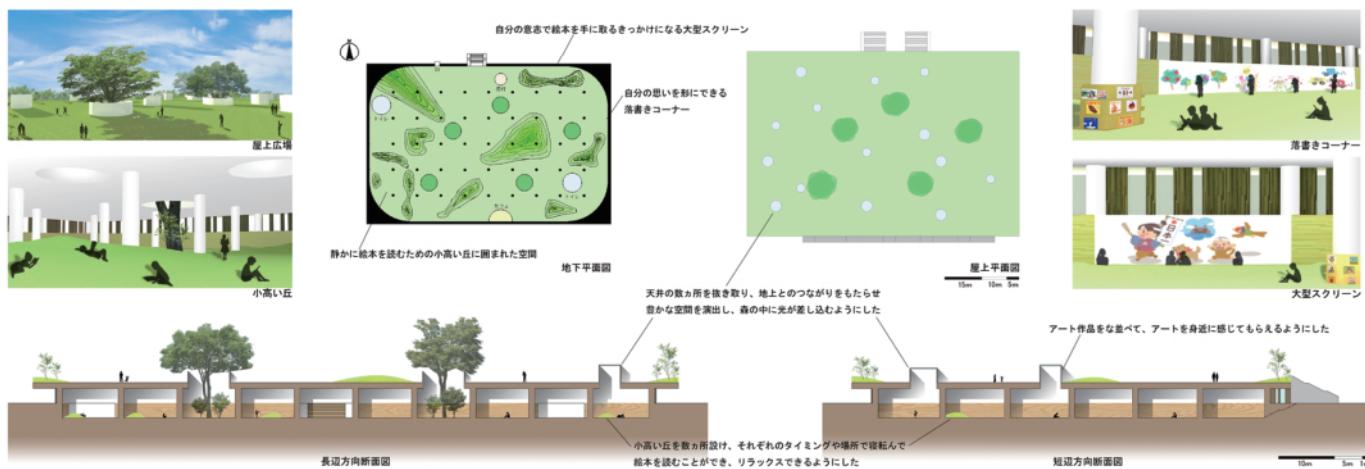


▶ 岡山科学技術専門学校 建築工学科

カギセンAチーム

北山 瑞穂 亀高 輝 貞森 昭宏 益原 佳太

芳本 賢太 名原 沙耶香



Concept

課題地の周辺は、岡山市役所やジョイポリスもあり、多くの人が通る立地です。そこで、建物の外部の三方向を木で囲い、森のように見せることで、景観に配慮した、人が集まる、たまり場的な外観デザインとしています。そして、この絵本図書館が岡山駅を中心とした、後楽園・岡山県総合グラウンド・絵本図書館で森のトライアングルとなり、自然に触れる機会を増やすことで、人に安らぎを与えることができます。断面計画では、GLレベルをナチュラルに変えることで、別空間を演出しました。三年前にイオンモール岡山がオープンし、岡山では都市化が進み、たくさんの物で溢れるようになりました。そこでこの絵本図書館には、机や椅子をあえて置かないことで物を作らない豊かさを伝えたい！ そうすることで逆に物が溢れてる豊かさを知ることができると思いこの絵本図書館を提案します。課題のテーマでもある「子ども」「アート」に着目して考えてみると、美術館やアートに触れ合う機会がない子どもも多いと思いました。アートの役割とは、見る人の心を動かし豊かにすることですが、人はアートに対して、触れにくいものだという認識を持って

います。なので、美術鑑賞を楽しもうと思っても、実際何をしていいか分からないということもよくあることだと思います。そこで、アートに触れ合う物として、私たちの身近な存在でもあるのが「絵本」の存在です。絵本を読むことは、子どもの成長には欠かせない4つの要素があります。①集中力②考る力③想像する力④予測する力誰でも一度は触れたことのある絵本は、アートに苦手意識を持っている大人も一緒に楽しむことができるで、子どもを緩衝材として、人と人とがつながり、世代を超えた交流を望むことができました。したがって、ただ知識を伝えるための図書館ではなく新たな形の絵本図書館となります。今回の建物のデザインは、外部の三方向を木で囲い、景観に配慮し、岡山の中心でも自然に触れることで、人に安らぎを与えるようにしました。また、天井の数か所を抜き取り森の中に光が差し込むようにイメージするだけでなく、地上とのつながりをもたせました。「絵本」というアートを通して、人（子ども）が育ち、人と人とがつながり、多世代から次世代につながる新しい価値を創造できる絵本図書館としました。

～未来へつながるメッセージ～

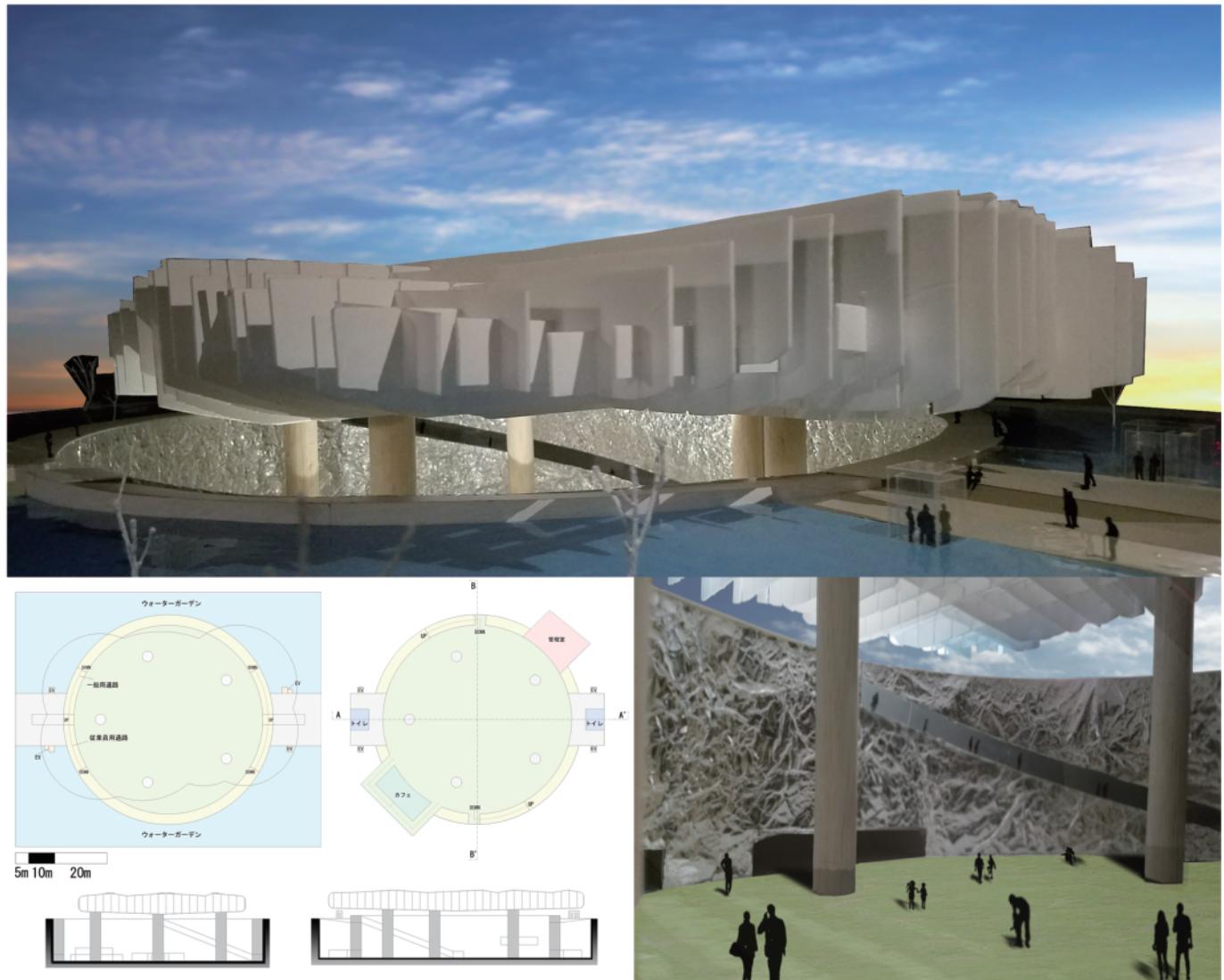


▶ 岡山科学技術専門学校 建築工学科

カギセンBチーム

清水 希夢 白川 瑠莉 次田 勇樹 高橋 聖

守安 翔梧 上田 健汰 姜 晨



Concept

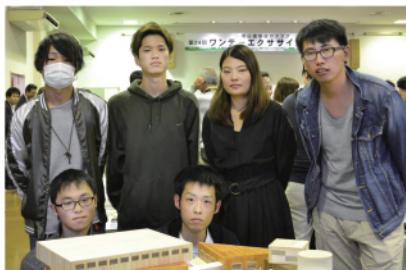
地方都市岡山の中心部には、商業施設が密集しており多くの人々が集まる拠点となっている。今回の課題地周辺には岡山イオンやジョイポリスなどのショッピングや娯楽の施設が存在し、経済の豊かさを象徴するような場所に位置している。この経済の繁栄にはエネルギーが必要不可欠であり、エネルギー供給のあり方や方向性を広く理解してもらうために私たちは未来を想定した多目的公園を計画した。

建物内は、地上からスロープでゆっくり下りていき、左側には写真やアートを飾る。右側にはスロープ全体をガラス張りにし公園内を下りながら見渡せるようにした。公園内は広い空間を設けることで多目的スペースとして活用でき、屋外コンサートや祭り、ギャラリーとして活用できる。そして、地下より5m高い場所にカフェを設けた。カフェの内側をガラス張りとして公園内を見渡せ、少し高い位置から公園が見えることで見方は一つではない事を表現した。また、屋根はCLTを格子状に組み、不安定で未完成のような未来のデザインとして日本をはじめ世界の不安定さを表現した。

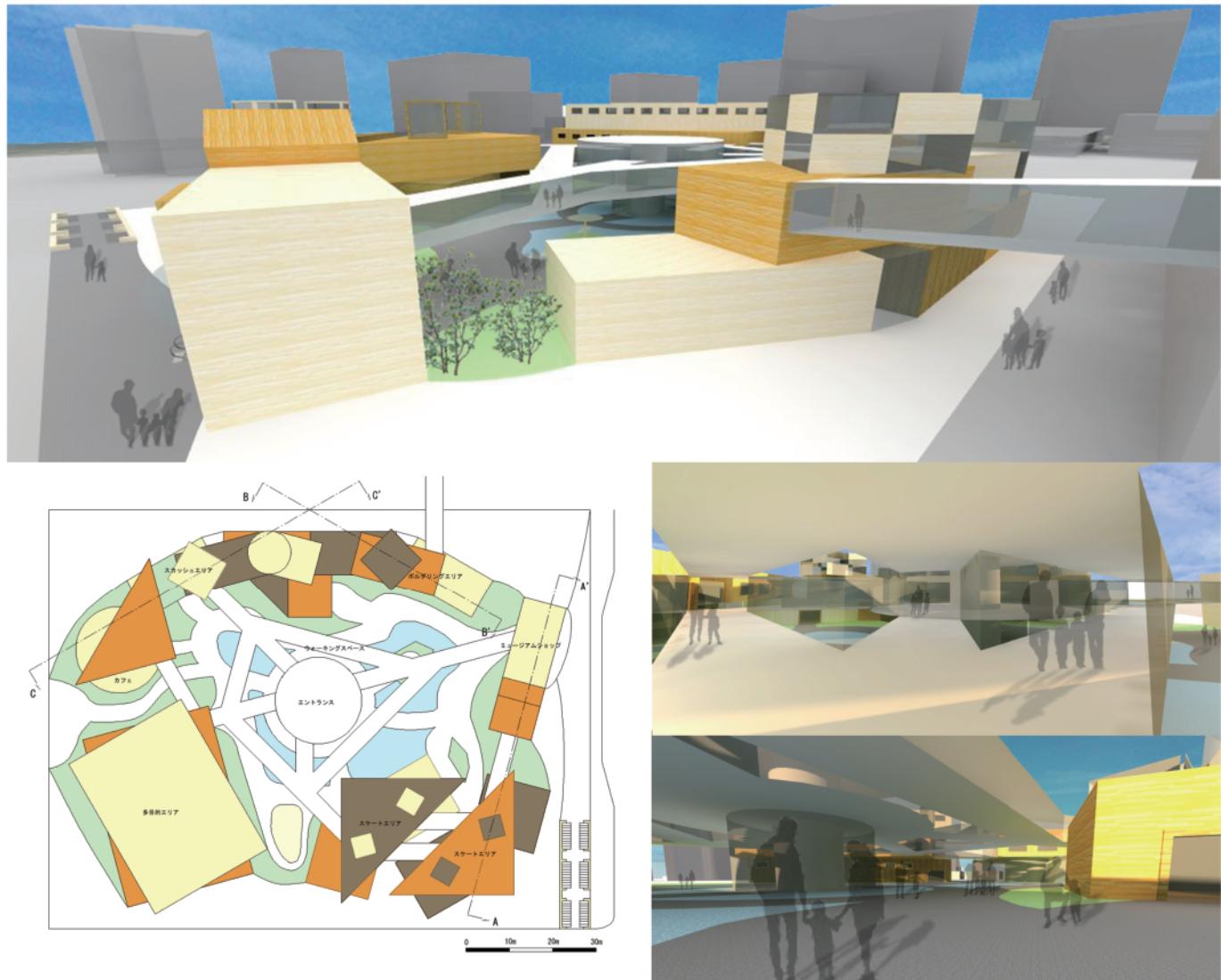
大きな屋根がかかるためソーラーパネルを屋根の上に複数設置することで公園全体の電力をまかなうように省エネにも配慮している。

この未来公園は、公園全体がアートとなっていて、CLTを格子状に組んだ屋根、自然災害をイメージした地上、放射能から逃れるための15mの地下、子どもの想像性の手助けなど様々な意味を一つの公園にまとめた。それにより、幻想的な空間と感じる人もいれば、未来的に何かしようと考える人など、様々な感性を生み出し多世代から次世代につなげていき、道路から格子状の屋根が見え、岡山のシンボルとなり人々から愛されるランドマークのような建物をめざした。

Building culture blocks ~アート×スポーツ ミュージアム~



▶ 岡山科学技術専門学校 建築工学科
カギセンCチーム
関口 裕斗 白神 翔也 原田 直堯
陸 遥 武川 瑞歩 羽原 寛人



Concept

敷地に点々と広がった各棟には運動・体験が行える施設を設け、アートとスポーツの融合をテーマに、ボルダリング・スケート・スカッシュ・フットサルなどのコートを使ってコミュニケーションがとれる多目的スペース、それぞれがアートと合わさり、体を動かすと共に、自分の感性を磨くことが出来るよう計画した。

たとえば、ボルダリングにおいては、来館者自らがホールド（壁をのぼる際、手がかりになる突起物）をデザインし、ボルダリングそのものがみんなの手で作り上げるアートに、スカッシュにおいては、ボールを打ち、壁に反射した際に様々な効果音が鳴り、聴覚から感性を刺激する音のアートに・・・といったものである。

カフェスペースは、様々な体験の合間にゆったりできる空間として計画した。中央にそびえるエントランスからは、すべての棟へと渡り廊下を使って移動することができ、目的に応じてスマートに移動することが可能となっている。さらに、ウォーキングスペースとして渡り廊下に回遊性を持たせることにより、地上からの景色とはひと味違い、連続した

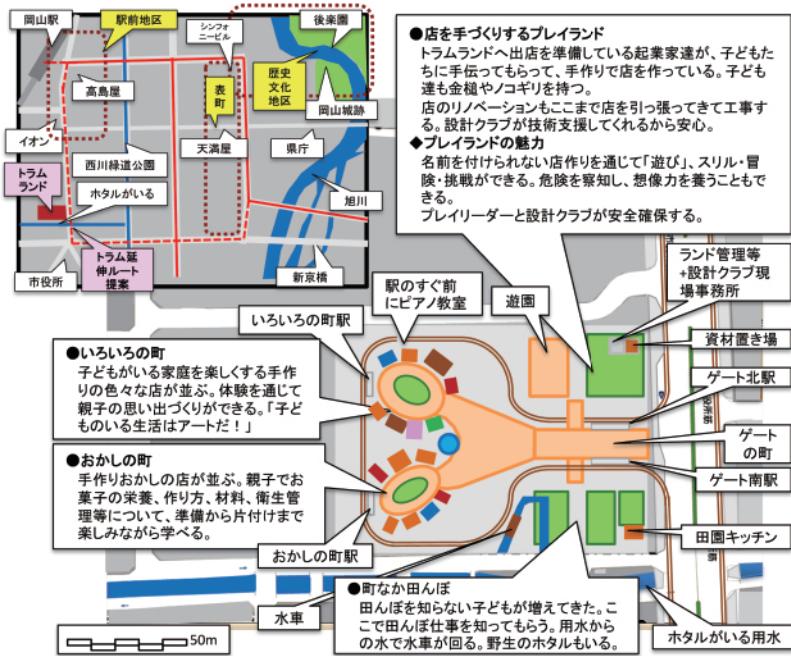
線で建物を見渡しながら散策することができる。そのため、外観においては、なるべく人の興味を惹かれるものでなければならない。そこで、テーマとして取り入れたのは、「恩物」という教具である。恩物という教具を考案したドイツの教育学者フリードリッヒ・フレーベルは、子ども達が楽しく遊びながら創造的な表現活動を展開するようこの教材を設計したが、その中の代表的なものに「積み木」がある。私たちも幼少期に子ども特有の自由な発想で色んなカタチの積み木を積み上げて遊んだ。その創造力を発揮させる能力を秘めた積み木という教具を、ひとつのモチーフとして建物の外観に活かした。それにより、子どもに第一印象から親しみやすさを感じてもらい、ストレスなく遊びに集中してもらうことができる。さらに、不規則に建物を並べることにより、あたかも積み木で遊んでいるかのような配置とし、規則的なもののなかにある不安感や圧迫感を感じないよう計画した。いわば、建物自体がアートなのである。

トラムランド (Tram Land) : 本物の路面電車が走る子どもの国



▶ 山陽学園大学

橋本 みつき 片山 祥奈子 藏野 菜緒 高橋 未奈
万代 真希伽



Concept

1) 延伸されたトラムは、中心街を回って子どもたちを乗せてトラムランドまでやってくる。

2) トラムはトラムランドに乗り入れる。トラムランドには①ゲートの町、②おかしの町、③いろいろの町があり、それぞれ駅がある。

3) お菓子の町といろいろの町は、手作り体験ができアートのティストを込めた商品を提供する。

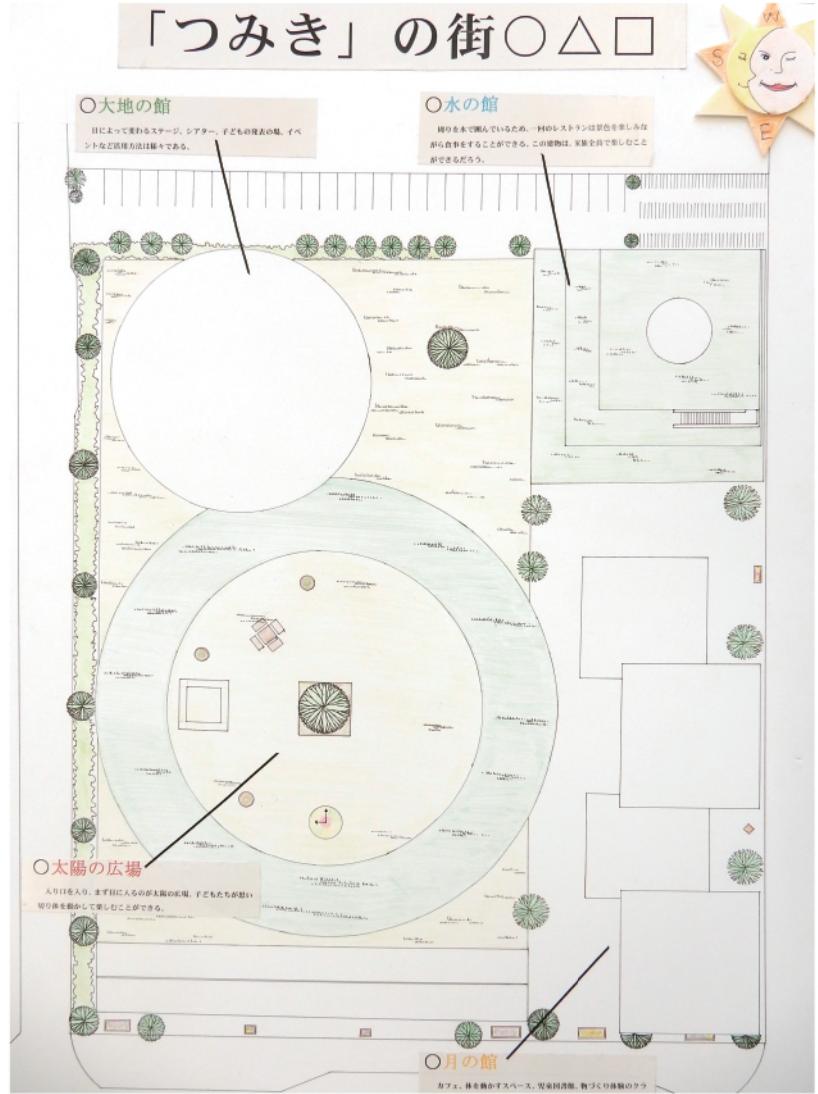
4) ゲートの町の南部分は「町なか田んぼ」である。子ども達の体験と食育のための田んぼである。

5) 北部分には「店を手作りするプレイランド（冒険遊び場）」である。おかしの町・いろいろの町の店舗はすべてここで手作りされる。子どもたちも店つくりに参加する。もちろんアドバイザーは設計クラブ。

「つみき」の街○△□



▶ ノートルダム清心女子大学 人間生活学部人間生活学科
伊藤 日向子 宇喜多 満帆 岡田 幸恵 近藤 理央奈
末包 可奈子 高崎 真梨子 竹井 彩瑛 西平 美穂 原 千夏



Concept

この敷地は岡山駅や大型ショッピングセンター、山陽新聞社等の近くに位置しており、人通りの多い非常に賑わいのある場所です。駅周辺にはオフィスや商業施設、飲食施設がある一方で、マンションによる都市住宅も増えています。しかし、子供が走り回ったり、学んだり出来る施設が少ないのが現状です。そこで、私たちは、この土地に子供が運動したり、読書をしたり、その他様々な社会経験を学ぶことが出来、楽しめる施設を提案します。建築の形としては、子供が覚えやすく親しみを持ちやすいシンプルな形である△□をモチーフに建築を考えました。三角形のエントランスを抜けると「太陽の広場」が広がります。この太陽の広場は、子供たちが思い切り体を動かして楽しむことができる空間です。円形の歩廊空間は、夏の日影での遊び、降雨時のたまご場として活用も出来ます。「月の館」には、カフェ、体を動かすスペース、児童図書館、物づくり体験のクラフト館の4つの施設を考えました。「水の館」は、1階にレストラン、2階にアクアリウム、3階にプラネタリウムを設置し、家族全員で楽しむことの出来る施設としました。「大地の館」

は、シアター、子供の発表の場、多用なイベント開催など活用方法は様々です。室内は、大空間の建物として、開放感のある劇場としました。「太陽の広場」、「月の館」、「水の館」、「大地の館」はともに、子供や家族全員で楽しめる空間です。

「つみき」のように、子供たちが自らの手で自由に創り上げていくことの出来る、素朴で素晴らしい施設を考えました。

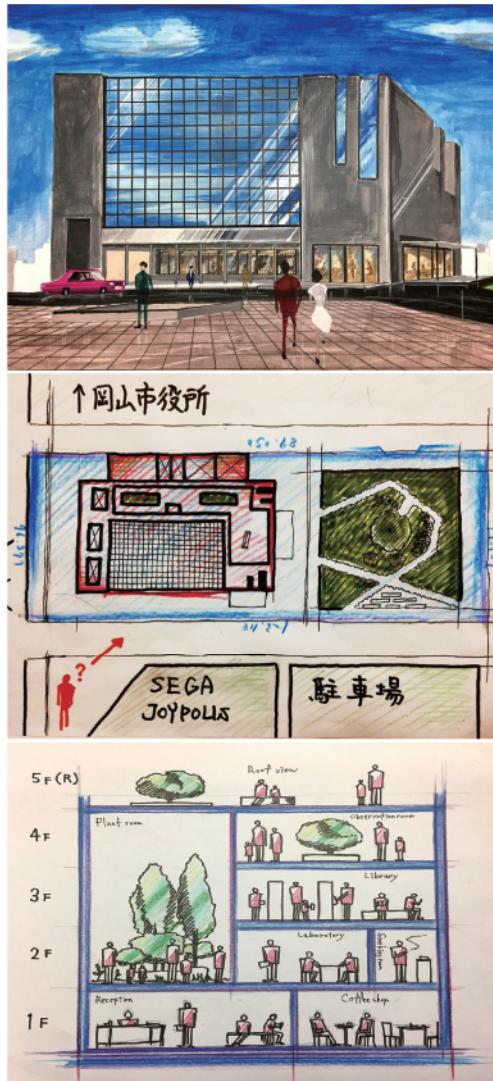
屋内型植物園



▶ 岡山後楽館高等学校

Taiga Shirakashi

白樺 大河



Concept

概要

現状、人口が増えるにつれ森林伐採や土地開発が進められる社会となっている。人（これから育っていく子供達）にこれから社会、人と植物との関係を考えられる場を設け、また教育の場として植物園をメインに学んでもらおうと考えている。街中で育った子供達はもちろん、大人でも安らげられるよう室内型の植物園を考えており、街中にいるとは想像できない空間を考えている。そして植物を通し、人と人が意見を交わしたり、楽しい思い出を残してもらうために幼稚園の遠足や小学校、中学校の校外学習の場としても考えた。

構造

施設の構造はまず、実際に植物や緑を目で見てもらうために2階に屋内広場を設け、次は植物の素晴らしさや疑問について、今現在の世界の状況などを知ってもらうために3階にライブラリーを設けた。夏休みの自由研究やレポートが書けるように、屋内広場横に自習室も完備。そして、これから社会、未来を考えられるような場、さらに広場一面を見渡せるように5階、屋上展望スペースで岡山の街と空の景色を眺められるような造りを考えた。子供はもちろん、大人からご年配の方々でも来場できるよう、1階に喫茶店、2階に喫煙スペースを設け家族でも来られる施設として考えた。

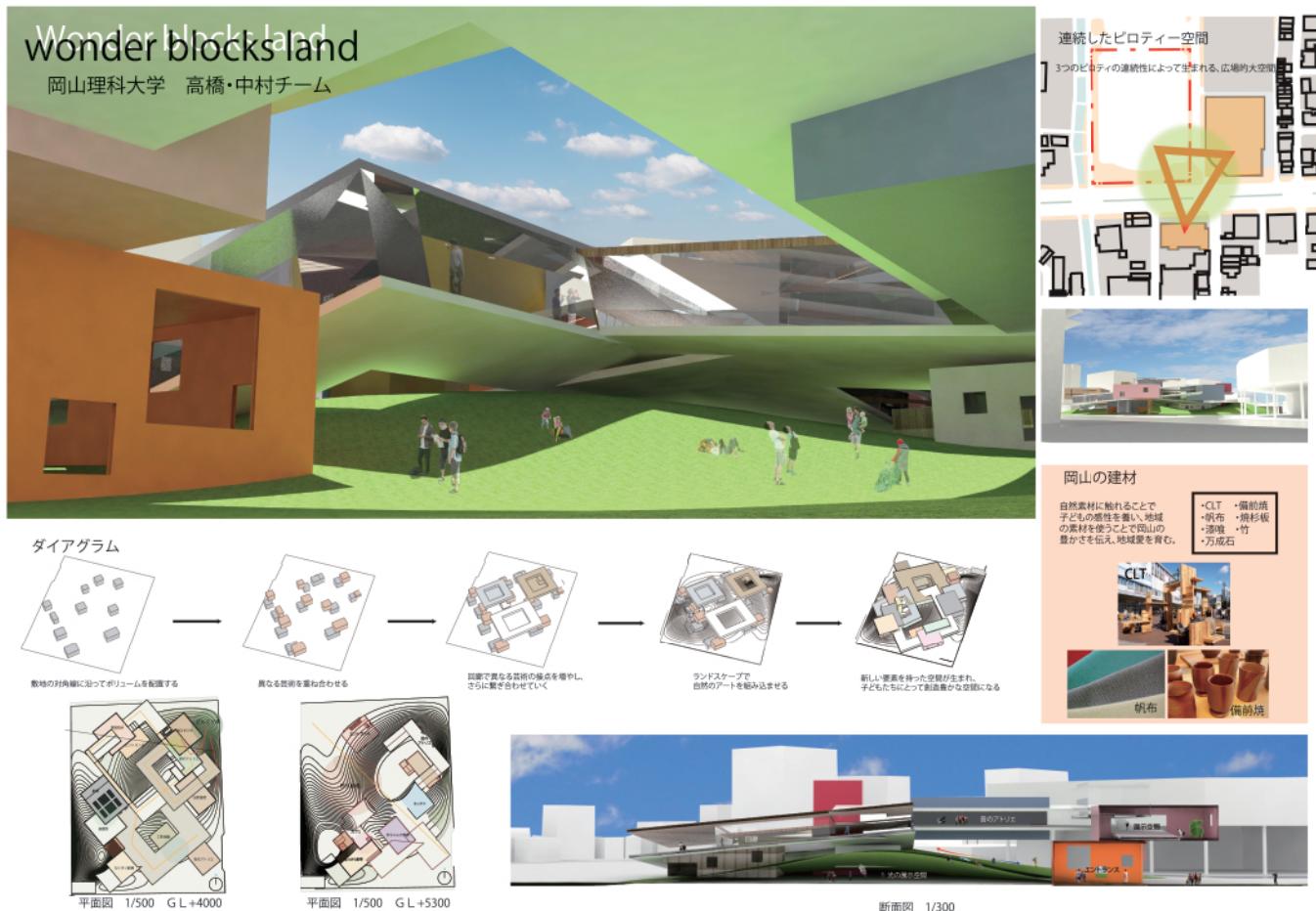
wonder blocks land



▶ 岡山理科大学 建築学科

高橋・中村チーム

秋山 典裕 伊藤 由依子 高橋 慧一 中村 匠吾
能勢 薫俊 比名 萌子 築瀬 紘樹 山田 恵莉
米田 周平



Concept

今回の課題の一つである現代アートは、現在多種多様に増えつつあり、それによって評価指標が一定ではなく、現代アートを複雑錯解と感じる人が増えてしまった。中でも若者の関心度は低く、岡山市においても平成27年度岡山市市民意識調査で10代のアートに対する関心が特に低いことが明らかになっている。そのような現代アートの問題点である「若者の芸術離れ」に着目し、子どもたちが芸術を身边に感じられる“体験型アートミュージアム”を提案する。

アートというと堅苦しいイメージがある芸術作品や創作活動を想像しがちだが、そればかりではなく、日常生活の様々な行動や自然環境にもアートは私たちの身の回りにたくさん存在する。現代アートは既存概念にとらわれない芸術表現と定義されており、私たちは現代アートを「個々のアートが重なり合うことで新たに生み出される物や事、行動」と考えた。

様々なプログラムが入ったボリュームを組み合わせることによって、重なり合った場所に新たな要素を持つた空間が生まれる。その空間での子どもたちの活動が現代アートとの触れ合いとなり、創造活動が活性化されることをめざす。

進った芸術の要素を持つ劇場や展示室、工作室、図書室などを隣接させたり積み重ねたりすることでアートの重なりをつくる。また、回廊やランドスケープを用いることで、自然物など日常にあふれているたくさんのアートとの関係を持たせる。例えば、どんぐり林で子どもたちはどんぐりを拾い、工作室でどんぐりを使った楽器を作る。そしてその作った楽器をみんなで音楽室や野外広場で演奏する。このように要素が重なりあいながら連続することで、子どもたちはストーリーを見ることができる。

岡山の「子どもとアート」の拠点となるようなミュージアムとして、子どもたちと芸術が出会うきっかけをつくり、より気軽に芸術を体験できる場を提供する。五感を使って遊びながら美術鑑賞や創作活動をすることで、身の回りの自然や世界へ子どもたちの興味を誘発し、子どもたちの想像力・感性・自立心を育み、岡山市の子どもたちが心身ともに成長していくような手助けとなる。

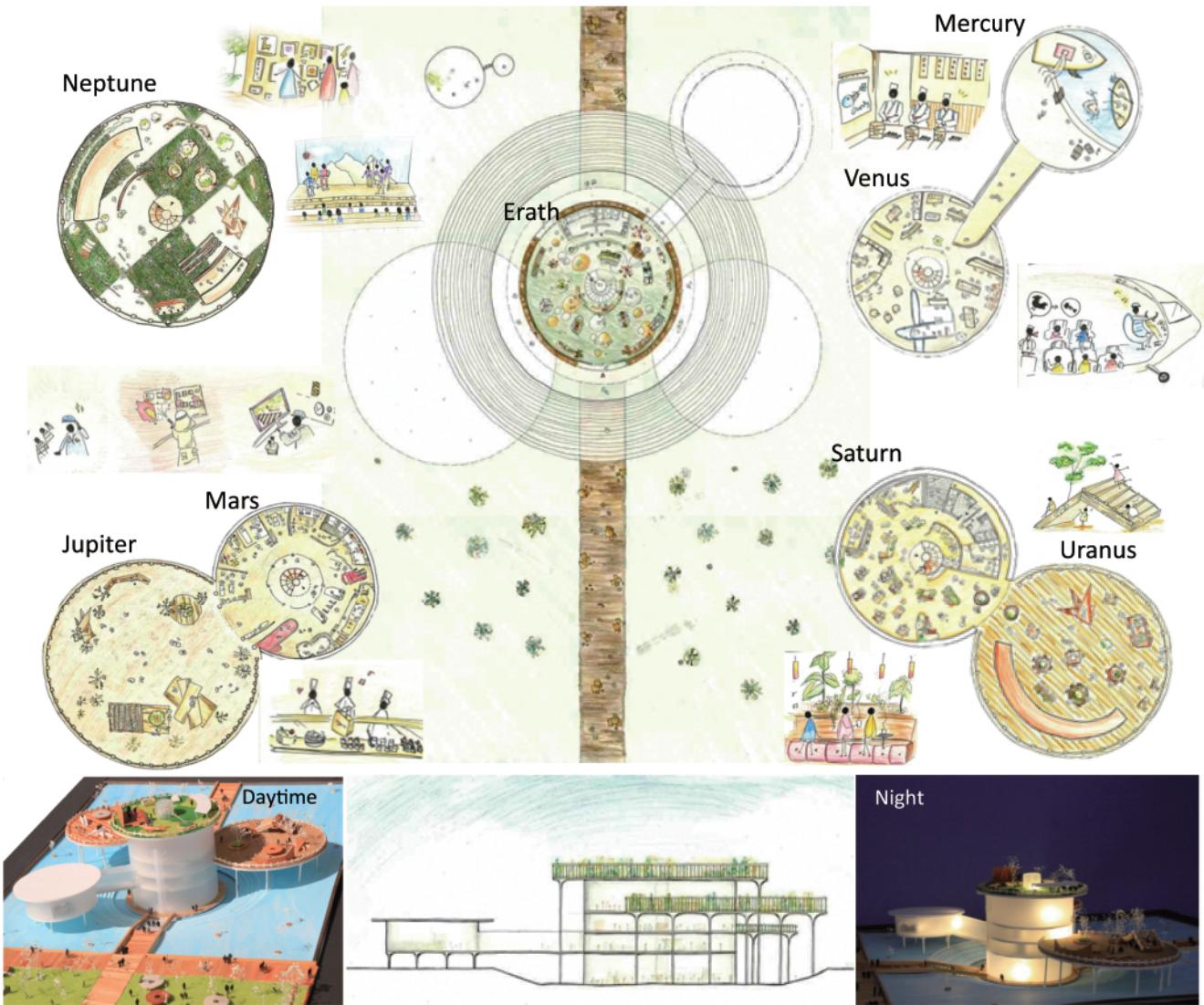
キッズプラネット



▶ 岡山工業高等学校

建築研究同好会チーム

加藤 雅人 古原 和哉 山崎 真愛 丸尾 力也 石指 萌絵
大久保 芽依 善木 南帆 田中 菜々子 森本 千聖 植田 貴哉
岡崎 拓人 森岡 大貴 山脇 卓也 井本 夢乃 小林 夏海
辻 佑京子 能登 奈生 山根 優奈



Concept

このキッズプラネットはその名の通り、惑星をイメージした子ども向けの施設です。この建物には「色々な経験を通じてたくさんの夢を抱いてほしい」、「家族との交流で笑顔が広がってほしい」、「職業体験で好奇心を大切にしてほしい」という想いが込められています。

岡山駅から南に下っていくと、右手にキッズプラネットが見えてきます。また、西側には駐車場を設けており、宇宙をイメージした水に囲まれた2つのアプローチを通っていくと、ガラスに囲まれたキッズプラネットに着きます。この建物は4階建てで、屋上には大きな庭があります。1階ロビーは地球で、子どもたちにはここから惑星の名前をつけた各フロアに向かってもらいます。

水星エリアでは海上自衛隊や漁師など、金星エリアでは寿司職人や航空パイロット、パン屋、ファーストフード店など、火星エリアでは消防士や警察官、車掌、医師、モデルなどの仕事を体験することができます。また、木星エリアでは遊具などで体を動かして遊んでもらうことができます。

土星エリアでは岡山の食材をふんだんに使ったレストランで、岡山の食文化を学びながら食事をしてもらいます。晴れた日にはフラットにつながっている天王星エリアのテラスで食べてもらうことも可能です。

最後に海王星エリアでは様々な団体による演奏やショーなどを楽しんでもらうことができます。岡山の将来を担う子どもたちに「夢を抱いてほしい」、「家族との交流を広げてほしい」、「好奇心を大切にしてほしい」という想いが込められた“キッズプラネット”。岡山の町にいかがでしょうか。

代表幹事 挨 拶

24回目を迎えたワンデーエクササイズであります。それは、取りも直さず私たち岡山建築設計クラブの歴史でもあります。

8校・13チーム・94名の参加を頂きました。どの作品も明確な主張を持ち、そして、どのチームも堂々とプレゼンされました。建築への若き情熱に触れるることは、私たち自身の喜びであり、励みにもなっています。

今回のテーマは子供たちに重点を置き、課題地も馴染み深い岡山の都心です。岡山建築設計クラブのモットーでもある「まちづくり・人づくり」という大きい視点で、かつ現実感を持って建築にアプローチする経験になったのではないしょうか。

夢多き彼らの未来が明るいものであることを切に願います。

岡山建築設計クラブ
代表幹事
大丸 和子





さあ、 2級建築士を 取得しよう。

建設業界は底堅い需要があり、安定した業績を挙げています。昨今では、全国的な老朽化インフラ対策、東京オリンピック・リニア中央新幹線など、国を挙げた大型プロジェクトが始動しており、今後もさらなる成長が見込まれます。しかし、建設業界は「資格」の世界。資格がなければできない業務が多いため、これから建設業界へ進む方は、必ず何らかの資格取得を求められます。それではどの資格をめざすべきなのでしょう？学生や社会人になって日が浅いみなさんに特にオススメなのは、何といっても2級建築士。建築に関する学歴によっては卒業後すぐに受験でき、なおかつ非常に利用価値の高い資格。早い段階から勉強をスタートすることで、早期の合格をめざしましょう！

2級建築士は
多くの企業に
求められています。

Feature

1

今こそ建設業界へ進もう！

飛躍する建設業界

日本の基幹産業である建設業。
今後ますます発展する業界で働く。

» 建設業は日本の就業者の
約8%を占める基幹産業です。

出所：総務省統計局



» 日本の建設業界は、
ますます発展する
条件が揃っています。

Feature

2

2級建築士は何ができる資格なの？ 2級建築士を知る

2級建築士は住宅のプロフェッショナル！
資格をもっていれば将来の道も広がります。



» 設計や工事監理など
建築関連の様々な
業務ができ、業界での
活躍の場が広がります

» 建築士事務所に最低1人以上
必要な「管理建築士」※に
なれます。



※実務を3年間経験し、
管理建築士講習の課程を
修了する必要があります。

建設業界で
活躍するには
資格取得が重要！



総合資格学院

岡山校 TEL.086-235-5901

〒700-0904 岡山市北区柳町2-6-25 朝日生命岡山柳町ビル1F

倉敷校 TEL.086-430-4711

〒710-0826 倉敷市老松町2-12-15 ホテル1・2・3倉敷 1F

Feature

3

取得は安定した将来につながる!

就職に強い2級建築士

2級建築士は就職・転職に非常に強い資格。

今、企業は若い有資格者を求めています。

- 有資格者の高齢化が進み、若い有資格者の数が不足しています。



- ハウスメーカー・設計事務所では必備の資格、大手ゼネコンでは入社時に2級建築士学科試験レベルの知識が求められます。

とある建築学生の人生プランイメージ

人生の成功ライン

資格取得に熱心な人生

お先に!

同期に比べ早めの昇進

幹部に昇進! 大きな案件を名指して受注!

オパンning

社内・社外ともに頼られる存在に

生涯収入でも圧倒的な差がでます。

昇進・昇格でも違いがでます。

仕事内容に違いがでます。

大学卒業

入社1年目

入社3年目

入社10年目

入社20年目

入社30年目

資格取得に後向きな人生

責任ある立場で仕事ができず、昇進・昇給もできていない…

地道に頑張るも成功ラインまでははるかに届かず…

ここが分歧点

在学中から2級対策スタート

充分な知識がない状態で就職

予備知識を身につけて就職

早めに資格をとるぞ!

入社1年目で2級建築士取得!

仕事内容に違います。

いざ資格勉強を始めようとしても家庭や仕事が忙しく時間もどれない…

資格は後でいいや…

責任ある立場で仕事ができず、昇進・昇給もできていない…

地道に頑張るも成功ラインまでははるかに届かず…

ここが分歧点

在学中から2級対策スタート

充分な知識がない状態で就職

予備知識を身につけて就職

早めに資格をとるぞ!

入社1年目で2級建築士取得!

仕事内容に違います。

いざ資格勉強を始めようとしても家庭や仕事が忙しく時間もどれない…

資格は後でいいや…

責任ある立場で仕事ができず、昇進・昇給もできていない…

地道に頑張るも成功ラインまでははるかに届かず…

Feature

5

2級建築士の勉強はいつ始めたらいいの?

早期スタートのメリット

昇進や収入アップを考えると有資格者は、もちろん有利。将来のことを考えると早めの取得がオススメです。

- 早期に資格を取得できるか否かが今後の人生に大きく影響します。(上図参照↑)

- 将来1級建築士をめざす方には、2級建築士の学習は最良の基礎学習。



- 2級建築士の学習は卒業設計・卒業論文にも役立ちます。

2級建築士は簡単にとれる資格なの? 難化する試験

平成24年度から試験内容の見直しが行われた2級建築士試験。より実務的な対応力が試されます。



新傾向問題や法改正関連などの出題や
目新しい出題方法が目立つ学科試験

最新の試験では、新傾向・新技術・法改正を含む出題に加え、図の読み取りに関する内容など、目新しい問題も目立ちました。さらには、実務的な問題や1級建築士で問われるような問題もあり、深い知識が試されています。合格を勝ち取るためにには、基本事項を原理・原則からしっかりと理解する学習や、新しい傾向について分析し、それを反映した問題演習等を実践して、高い得点が得られる実力を、すべての科目において身に付ける必要があります。



製図試験は1級建築士試験なみの難しい課題が要求されています。

簡単な試験じゃないみたいね…



2級建築士のことなら当学院ホームページへ!

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

受験生必見! 2級建築士インフォメーション

2級建築士の試験概要や業務内容、勉強方法・講座案内まで、建築士受験に役立つ情報が満載!



岡山建築設計クラブ
第24回 ワンデーエクササイズ2017

発行日 2018年2月

編集・発行 OKC 岡山建築設計クラブ事務局

〒700-0022

岡山県岡山市北区岩田町2-26 ニュー中桐ビル2F

TEL 086-233-1276 FAX 086-233-8351

URL <http://www.optic.or.jp/okcc/>

主 催 岡山建築設計クラブ

「公共建築の日」および「公共建築月間」中国地方実行委員会

共 催 (一社)岡山県建築士会

(一社)岡山県建築士事務所協会

(公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会

(一社)日本建築学会中国支部岡山支所

(公社)日本建築積算協会中国四国支部岡山県部会

後 援 岡山県・岡山市・倉敷市

協 力  総合資格学院 (株)総合資格(取材協力)(特別協賛)

